

日本サッカーに ルネサンスは起こるか? (4)

枚方FC 近江達

枚方FCの創設者にして監督である近江達氏は技術や指導の第一人者であるばかりではなく、サッカーというスポーツの裏面にある文化背景をも深く探求している。その論旨は日本サッカー界、否、日本社会の弱点にまで筆鋒鋭く切り込み、本質に迫っている。「日本サッカーの発展のためにルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要である」と喝破する。……昨年9月号より掲載しておりますこの連載は雑誌サッカージャーナルのご好意で転載しております。

スポーツの語源

現代スポーツは、古代ギリシャ、ローマの格闘技からきたものに、球技など近代スポーツと呼ばれる英國からの流れが加わってできました。最近はアメリカ生まれもある。

スポーツという言葉は英國系の方で、気晴らしに楽しむ、という意味のディスパルタレというラテン語からきています。

日本語のスポーツはむろん運動競技のことである。だが、彼らの場合、それだけではない。日常遊びたわむれるのもスポーツと呼ぶのである。威儀を正した試合も、子供たちがただ遊ぶのも、すべてスポーツ。これは注目すべきことで、彼らのスポーツが楽しそうなものなるほどとうなづける。

われわれの場合、そうはいかない。知育体育、教育の一環として教えられたためにスポーツは神聖であり、眞面目にやらないといけない、という構えだから、いま流行のOBサッカーでさえ、「本当は、こんなお遊

「何事にも全力を持って」

北区ひよどり台 塩見 光子

本紙、親子共々楽しく読ませていただきております。

私共の次男はひよどり台小学校5年生です。サッカーを始めて(4年生からですので)1年半余、ようやく面白さ、練習の厳しさも判つてきて、月、木、土の練習日は朝からいきとして出かけていきます。私も対外試合等に何度も付添いで行き、試合、練習を観戦しながら私共の子供の頃の様にがむしゃらに立向っていく子供らしさはどこへやら……。何かうひとふんぱりの足りなさに、はがゆを感じます。

でも、この頃やっとボールへの面白さも加わってきて、自分なりに努力している様です。

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9
阪神御影駅南側西へ30m

☎078(821)8449

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8
市バス水道筋6丁目上がる100m 東側

☎078(861)4671

塙谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5
バンドウ化学商

☎078(576)0870

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店
プレザーショップ、トーアロード店

☎078(391)0895

ドルチェ・マック、センター街

☎078(332)0141

オウビ

中央区琴緒町4-4-5
国鉄三宮駅北側神戸経理専門学校斜め前(田上ビル1階)

スマラ

湊川店 湊川プラザ2階
錦蘭台店 ダイエー西側

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8☎078(391)1121
☎078(331)4578

六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

武芸十八番などと言っても、江戸時代初期までは、決して生やさしいものではない。他流試合はまるで古代ローマの格闘技さながら文字どおりの真剣勝負。敗北は死か不具を意味した死闘だったから大変である。

ヨーロッパ人によってスポーツがもちこまれたのは明治の文明開花期である。彼らがプレーしていた間は、もちろん本国と同じスポーツだったろう。だが、そのうちに日本人だけでやるようになると、遊びの要素は急激に薄れ、武道にどんどん同調同化していく、やがて体操(今の体育)や部活動として教育の中に組み込まれて、全国に普及する。

こうして完成されて現代にいたっている日本式スポーツ(すなはち体育)は、本家である欧州のスポーツとは少々ちがう。心身鍛錬、人間形成、教育の一環などを看板にかけ、本体は徹頭徹尾、勝利至上主義で固められている、と言っても過言ではないだろう。

われわれ以上に勝つために全力をあげベストをつくし、本気で相手を叩きのめそうとし、叩きのめされまいとする。その闘争がまた、彼らにとっては楽しくならないらしい。肉食民族と菜食民族の違いかも知れない。

だが、それでも彼らには「いくらムキになつて、必死で戦つたって、スポーツはスポーツ、人生ではよせん遊びにすぎないさ」といった区別があり、分別が働いているらしいのである。早い話、ボクシングなどそれこそ決死の遊びのサイトるものであろう。

幕末から明治にかけて、白人を一方では畏怖しつつ一方では排他主義からさげすんで、和魂洋才、東洋精神西洋芸といった流行語ができた。芸はさきほど説明したとおりで、技術は向うが優れているから、向うのを利用し、精神はこちらが優秀だからこっちでの行こう、という毎度お馴染みの手である。

その後も敗戦まで、毛唐という雅称など日々よく使われた。神國日本とすこぶる冷静に自称公言していた時代だから、舶来スポーツの日本化から普及の間、優越性が信じこまれていた日本の武道的精神が大いに昂揚力説されて、本来の楽しさが消失してしまったであろうことは想像に難くない。

(つづく)

びでなくて、もっと真剣にやらないといけないのだけれど」などと言い訳がついて回ったりする。

しかし、「楽しむと真剣にできない」のは、そういう国民性なのか、禁欲的な教育思想に染まりきったためなのか、とにかく日本人の場合であつて、欧米人にはどうもあつてはまらないような感じがする。

遊びと同じ範囲に入るから彼らのスポーツは真剣でないか、と言えば、衆知のごとく決つてそうではない。

われわれ以上に勝つために全力をあげベストをつくし、本気で相手を叩きのめそうとし、叩きのめされまいとする。その闘争がまた、彼らにとっては楽しくならないらしい。肉食民族と菜食民族の違いかも知れない。

だが、それでも彼らには「いくらムキになつて、必死で戦つたって、スポーツはスポーツ、人生ではよせん遊びにすぎないさ」といった区別があり、分別が働いているらしいのである。早い話、ボクシングなどそれこそ決死の遊びのサイトのものであろう。

日本スポーツの由来

もともと日本には、スポーツに相当するものは相撲しかなかったらしい。江戸時代、いろんな武芸大会がさかんだったが、もちろん今のは異なるほどとうなづける。

武芸が武道に変わったのは、明治の講道館柔道以後のことである。昨今、芸といえども低俗に響きがちで、ややもすると娯楽遊興へ連想が傾くために、到底、武士や戦闘とは結びつかないけれども、当時は、修練で得た技能や術はすべて武芸と呼ばれていた。

(つづく)

早朝練習なども自分達なりにやつたりしています。

今の子供達に見られる自分さえよければと……。

やはり、これから益々厳しくなるであろう社会情勢の中で生きていかなければならぬ子供達を思う時、忍耐力の強さ、体力、そして協調性を持った子とに願っています。

もうすぐ迎える中、高校生活を思う時、部活動、勉学の厳しさに毎日が自分との闘いでいます。サッカーをやり、またサッカーを通して得たものをこれから的生活の中で何事にも全力を持って立向つていってもらいたいと思っています。

出来ましたならばもう少し先生、御指導の方々は大変だと存じますが、練習、対外試合等をより多くさせてやってほしいと思います。

サッカーをやっている子を持つ母親の気持ちを書かせてもらいました。

兵庫県協会からお知らせ

昭和58年度第63回天皇杯全日本選手権

兵庫県大会説明会(抽選会)

△とき 58年2月12日(土) 18:00~

△ところ 王子登山研修所

△お問い合わせ先 兵庫県サッカー協会

☎078-232-4647・0753

◆編集後記◆

58年正月も天皇杯決勝、高校選手権とビッグ・タイトルで幕が開き、ヤマハと清水東高校がそれぞれ日本一の座についた。考えてみれば、昨年の全日本少年大会の清水FC、全国中学校大会の観音山中、国体少年の部の静岡選抜と、少年から大人までのビッグ・タイトルのほとんどを静岡県が奪った。その背景には協会関係者の永年のみなみならぬ努力がある。我々も負けてはならない。(力)

神戸市社会人運営会議予定

次回 2月17日(木)

3月17日

いずれも木曜日、18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

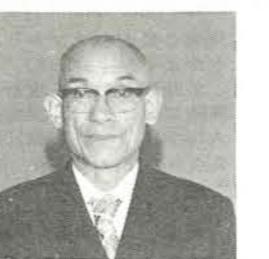
〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内

神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753

なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユーハイム



力を貯えよう!

亥年は爆発力を秘めた年

新年あけまして おめでとうございます

神戸市サッカー協会会長 河本 春男

サッカーはスポーツの中で人間形成に非常に役立つ要素を備えていると考えていて、孫達に奨励しています。サッカーでは常に一步先んじて早く、タイミングのよい先制を心掛けないと勝てない。私は体が小さいから何時も相手の機先を制する心掛けを忘れないかなつたが、20年もサッカーをやり、青春をかけたお蔭で私の性格にまで成長し、実業の世界でも、タイミングのよい先制を実現して、我ながら驚くことがあります。

サッカーを志される方々が文武兼備の学生として成長されることを祈っています。今年は何かにつけて力をため将来に備えることに心掛けましょう。

ご健康とご多幸を祈り新年をお祝い申上げます。

優勝 国体少年の念部

サッカーの母国イングランド、スコットランドへ遠征

兵庫県高校生選抜、ハーツ(スコットランド)ユースと対戦

昨年10月、島根国体少年の部で見事優勝を成し遂げた兵庫県高校生選抜チームがイングランドとスコットランドに遠征し、スコットランドのエジンバラ市では地元のプロチーム、ハーツのユースチームと試合を行うことが決定した。

これは、国体優勝を記念し、ぜひ海外遠征をさせてやりたいとの兵庫県協会関係者の願いが実現したので、来る3月25日に日本を出発して途中デンマークのコペンハーゲンを経由し、イングランドのロンドンに行き、ここで高校チームと交歓試合を1試合行って、3月30日にはスコットランドの首都であるエジンバラ市を訪れる。

ジンバラ市を訪れ、スコットランド・ブリッジの強豪ハーツのユースチームとの公式試合が予定されている。この試合には地元市長も列席して行われるとの電文も協会に届いており、熱烈な歓迎ぶりが予想される。

サッカーの母国、英國に兵庫県のサッカーチームが遠征するのは初めての快挙であり、選手諸君が学び得るものは数多いと思われる。また、この遠征によって兵庫県サッカー界がこれまで推進して来た事業をさらに発展させる大きな力となるよう遠征チームの関係者は目下、銳意、準備と強化に心を砕いている。



△島根国体少年の部に優勝し、英國遠征のプレセントを受けた県高校生選抜。

兵庫県高校生選抜英国遠征チーム

【団長】前野 正(県協会常務理事)

【監督】一北四郎(県協会技術副委員長・御影工業高)

【コーチ】森田哲郎(御影高)

山根由雄(北須磨高)

【主務】佃幹夫(県協会第2種委員長・六甲高)

石塚哲郎(鳴尾高)

【選手】石末龍治(伊丹北高3年) 石田明

豊(小野高3年) 上谷等(伊丹西高3年)

小林公平(市西宮高3年) 井上教文(神戸FC3年)

和田昌裕(御影高3年) 関博史(北須磨高3年)

堤康(六甲高3年) 永島昭浩(御影工高3年)

赤松和洋(御影高3年) 遠藤憲(福崎高2年)

溝畠哲朗(神戸FC2年) 跡上良二(御影工高2年)

大迫恵也(尼崎北高2年) 山本雅彦(六甲高2年)

成田大(六甲高2年)

成田大(六甲高2年)

成田大(六甲高2年)

月 日	地 名	現地時刻	摘要	宿泊地

<tbl_r cells="5" ix="1" maxcspan="1" maxrspan="1" usedcols

57年度 神戸市少年リーグ1部

神戸FCボーディズA 4度目の優勝

昭和57年度神戸市少年リーグ1部（小6以下男子上級クラス）決勝戦は天皇杯全日本選手権準決勝ヤンマー対フジタ工業戦の前座試合として行われた。決勝に進出したのは神戸FCボーディズAと多井畠少年団A。大きいゴール、グラウンド、多数の観客の前での試合で普段と多少違った試合になったが、神戸FC・Aがのびのびとしたプレーを見せ2年ぶり4度目の優勝を飾り、河本杯を手中にした。

△1部決勝

神戸FC 2 { 1-0 } 0 多井畠
ボーディズA 1-0 少年団A
試合は立ち上がりから決勝戦らしい激しい



△ズA
渡辺貞明
多井畠守備陣を突破する神戸FCボーディズA

兵庫県リーグ

市内3チーム下位に並ぶ

昭和57年度 兵庫県リーグ結果

順位	チーム名	三洋電機洲本	洋本	西淡F.C.	明倫クラブ	新日鐵広畠	日触姫路	三木F.C.	木双和	和市役所	神戸F.C.	勝点	得失点差
1	三洋電機洲本	○ 2-0 ○ 2-1	○ 3-1 △ 2-2	● 1-6 ● 0-2	● 1-3 ○ 0-2	○ 3-2 ○ 3-0	△ 0-0 ○ 1-1	○ 2-1 △ 1-1	○ 3-2 ○ 1-0	△ 1-1 ○ 5-1	○ 1-0 ○ 1-0	23	10
2	西淡F.C.	● 0-2 ● 1-2	● 2-3 ● 1-2	● 0-2 ○ 5-1	● 0-2 ○ 3-1	● 0-1 ○ 4-1	○ 4-0 ○ 4-0	○ 2-1 ○ 2-0	○ 1-0 ○ 4-0	○ 0-1 ○ 2-0	○ 0-1 ○ 2-0	21	19
3	明倫クラブ	● 1-3 △ 2-2	○ 3-2 ○ 1-2	● 0-2 ● 1-3	○ 2-1 ● 1-3	○ 2-1 ○ 2-1	○ 1-0 △ 3-3	○ 1-0 ○ 2-0	○ 2-0 ○ 2-0	○ 0-1 ○ 5-2	○ 1-0 ○ 2-0	20	4
4	新日鐵広畠	○ 6-1 ● 0-4	○ 2-0 △ 0-0	○ 2-0 ● 3-1	● 0-1 ● 0-1	○ 1-0 ○ 5-1	○ 2-1 ● 1-2	● 1-2 ○ 4-1	○ 4-1 △ 1-1	△ 1-1 ○ 1-0	△ 1-1 ○ 1-2	18	10
5	日本触姫路	○ 3-1 △ 0-0	● 0-3 ● 1-5	● 1-2 ○ 1-0	● 0-1 ● 3-1	○ 0-1 ○ 1-0	○ 3-2 ● 2-3	○ 2-0 ● 1-3	○ 3-0 △ 1-1	△ 0-0 △ 2-2	○ 3-0 ○ 2-0	16	△ 1
6	三木F.C.	● 2-3 △ 1-1	● 1-2 ● 1-3	● 1-2 ● 1-3	● 2-2 ● 2-3	● 2-3 ● 2-3	● 2-3 ● 2-3	● 2-0 ● 2-0	● 2-0 ● 2-0	● 3-5 ● 2-1	● 2-0 ● 2-1	15	1
7	双和クラブ	● 1-2 △ 1-1	● 0-1 ● 1-4	● 0-1 △ 3-3	● 0-2 ● 1-5	● 0-2 ● 3-1	● 0-2 ○ 5-3	● 0-2 ● 0-4	● 0-2 ○ 5-2	● 0-2 ● 0-4	● 0-2 ○ 2-1	14	△ 9
8	神戸市役所	● 2-3 ● 1-5	● 0-4 ● 0-4	● 0-2 ● 0-2	● 3-1 ● 3-1	△ 1-1 ● 1-1	● 0-2 ● 0-2	● 2-3 ● 2-3	● 2-3 ● 2-3	● 2-3 ● 2-3	● 2-1 ● 2-1	9	△ 20
9	神戸F.C.	△ 1-1 ● 1-9 70	● 0-1 ● 0-2	● 0-2 ● 0-2	● 0-1 ● 0-2	△ 1-1 ● 2-5	△ 0-0 ● 2-1	● 2-2 ● 2-2	● 1-2 ● 1-2	● 2-5 ● 2-5	● 1-2 ● 1-2	8	△ 14

57年度兵庫県リーグは昨年4月に開幕し、

9チームにより前期、後期2回総当たり戦が行われ、淡路リーグから今年昇格した三洋電機洲本が企業チームの強味を發揮して初優勝を飾った。三洋電機洲本は広島や四国から若手選手を多数補強し、会社のパックアップもあって急成長した。2位には西淡F.C.があり、

淡路勢が上位を独占した。

神戸勢はしにせの神戸F.C.が不調で最下位となり神戸市リーグに降格するのを始め、双和クラブ、神戸市役所も7、8位で入替戦に出場せねばならず、このところ県リーグでは下位が続いている。今後の奮起を期待したい。

なお、上位3チームは関西リーグへの入替

が決まり、9チームにより前期、後期2回総当たり戦が行われ、淡路リーグから今年昇格した三洋電機洲本が企業チームの強味を發揮して初優勝を飾った。三洋電機洲本は広島や四国から若手選手を多数補強し、会社のパックアップもあって急成長した。2位には西淡F.C.があり、

淡路勢が上位を独占した。

神戸勢はしにせの神戸F.C.が不調で最下位となり神戸市リーグに降格するのを始め、双和クラブ、神戸市役所も7、8位で入替戦に出場せねばならず、このところ県リーグでは下位が続いている。今後の奮起を期待したい。

なお、上位3チームは関西リーグへの入替

が決まり、9チームにより前期、後期2回総当たり戦が行われ、淡路リーグから今年昇格した三洋電機洲本が企業チームの強味を發揮して初優勝を飾った。三洋電機洲本は広島や四国から若手選手を多数補強し、会社のパックアップもあって急成長した。2位には西淡F.C.があり、

淡路勢が上位を独占した。

神戸勢はしにせの神戸F.C.が不調で最下位となり神戸市リーグに降格するのを始め、双和クラブ、神戸市役所も7、8位で入替戦に出場せねばならず、このところ県リーグでは下位が続いている。今後の奮起を期待したい。

なお、上位3チームは関西リーグへの入替

が決まり、9チームにより前期、後期2回総当たり戦が行われ、淡路リーグから今年昇格した三洋電機洲本が企業チームの強味を發揮して初優勝を飾った。三洋電機洲本は広島や四国から若手選手を多数補強し、会社のパックアップもあって急成長した。2位には西淡F.C.があり、

淡路勢が上位を独占した。

神戸勢はしにせの神戸F.C.が不調で最下位となり神戸市リーグに降格するのを始め、双和クラブ、神戸市役所も7、8位で入替戦に出場せねばならず、このところ県リーグでは下位が続いている。今後の奮起を期待したい。

なお、上位3チームは関西リーグへの入替

JFAニュース第25号から

島根国体—少年の部

日本協会強化本部員 岡村新太郎

第37回国体サッカー競技少年の部は10月4日から8日まで、島根県益田市内4会場において連日快晴のもと、非常に良いグラウンドコンディションにて行われた。

結果は決勝戦で静岡選抜と兵庫選抜が互いに譲らず、両者優勝で幕を閉じた。今大会のベストエイトは千葉、東京、富山、石川、静岡、兵庫、徳島、福岡と（東北勢は残らなかったが）ほぼ全国的に平均している。中でも富山、石川の北信越勢が2チーム残っていることは特筆ものである。このような点から全國的にレベルアップしていることがうかがえる。以下大会を通じて感じた点を取り上げてみたい。

周りが見えない

周りが見えないために、判断に誤りが多い。これは状況の把握が出来ないために今、相手にとって何が怖いのかの判断に見落とし、見逃しがあり、一瞬のスキをつける甘さがある。例えば攻撃面ではMFが中盤でドリブルしている時、味方の右ウイングが相手DFの背後を狙い鋭い走り込みをしており、1つのスルーパスで決定的なシュートチャンスが作れる状況でも、そのMFはまだ平気でドリブルを続け、自分のボールコントロールを誇示しているかのようにプレーし、最終的にはつ

ぶされて逆襲を食らう。

一方、守備面では自陣内で逆サイドのDFがボールにつけられ、試合を傍観し、正しいポジションが取れず危険な選手や、危険なスペースを野放しにし、そこへボールが出てから慌てて対応する場面などがかなり見受けられた。

「周りを見る」ことは言葉の上では簡単に言えるが、いかに試合の中で周りを見るか、そして見えるかが次のプレーの読みにつながる重要なポイントであると言える。周囲の状況を知ることが良い判断の基本である。

基本的戦術があまり理解されていない

各チームの編成状況は単独ではなく混成であり、戦術面において問題があったのかもしれない。しかし寄せ集めでも基本は同一であり、少なくとも基本的な戦術が理解されているれば、あるいはチームで追求されれば、チームプレーは可能であると考える。

以上が観戦にて感じた点であるが、正月の高校選手権では以上の点を修正され、素晴らしい試合を期待して報告を終ります。

充実のモルテン Tango
モルテンコム工業株式会社
広島/東京/大阪/名古屋/福岡/札幌

充実のモルテン Tango
モルテンコム工業株式会社
広島/東京/大阪/名古屋/福岡/札幌

サッカー

教え方 学び方 <12>

協力 毎日新聞社

岩谷 俊夫

岩谷 俊夫